

ROAD

四日市市立西陵中学校
第3学年進路通信
第1号
令和4年4月15日(金)

将来の自分をイメージしよう!



「あなたは将来、どんな職業に就いていますか？」

「その実現のためにどのような道を選びますか？」

「進路」と聞くと、ほとんどの人が『どの高校に?』ということを考えます。しかし、本来「進路」とは卒業後に『進む路』のことを指します。つまり、卒業後に『どんな人生を歩むのか』を決めることを「進路決定」というのです。

卒業後すぐになるか、3年後、7年後…、いつになるかはわかりませんが、あなたたちは仕事に就くこととなります。仕事に就き、働き、自分の人生を歩んでいきます。そのための「進路決定」をより良いものにするためにも、今から「進路」を考えていきましょう。

すでに、自分はこんな職業に就きたいと考えている人もいるでしょう。もちろん、まだ想像のつかない人もいます。どちらにしろ、自分がなりたい職業によっては、中学卒業後の進路先が決まってしまうものがあります。例えば、「料理人の世界では、なるべく早いうちから修行をした方がよい」と言われますし、高校を卒業しないと取れない資格もたくさんあります。大学に進学しないと就けない職業もあります。つまり、**中3の進路選択がそのまま将来へとつながっていく可能性はとても高い**のです。そのためにも、**自分で納得できる進路**を選びましょう。

100マス計算で有名な陰山英男さんは、校長のころ自分の学校の児童に、

- ① テレビ、ゲームは1時間以内 ② 早寝・早起きをし、朝ごはんを必ず食べる

この2つを徹底させたそうです。すると、良い生活リズムとなり、多くのことがググッと伸びたそうです。

規則正しい生活のリズムを作る。つまり、「自分を律する」ことと健康で健全な生活をおくることが自分の進路につながるということですね。互いに認め合い、自分の個性を発見し、学年集団全体でそれぞれの「希望の進路」に向かっていきましょう。それにはまず、みなさん自身の「よりよく変わろう!」という気持ちが必要です。もちろん、私たち先生もできる限りのサポートをしますが、お家の人の支えや協力も必要です。みんなで未来を切りひらき、夢を実現させましょう。

交通遺児育英会奨学金（予約募集）

高校・高専等に進学を希望している中学3年生で、保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のため働けず、経済的理由で修学が困難な家庭が対象です。

◇奨学金は無利子貸与型で、返還期間は最長20年

◇奨学金は、月額2万円、3万円、4万円から選択

◇入学一時金は、20万円、40万円、60万円から選択

◇第1次募集締切は、8月末日 (<http://www.kotsuiji.com>)

この他にもいろいろな奨学金がありますので、随時紹介させていただきます。奨学金を考えてみえるご家庭は、早めに担任までご相談ください。

「進路希望調査を行う」とは…

ゴール（到達地点）のイメージ化 … 展望を持つこと！

童話『ウサギとカメ』の話があります。このお話の1つの教訓は、「まじめにコツコツと継続することで得るものがある」というものですね。で、もう1つ。ウサギはうしろのカメを気にしたり、キョロキョロとまわりのもの（休める大きな木など）に気をとられたりしていますが、カメはゴールのみを見続け、ひたすら自分のペースを崩さずに歩きました。「見ずえるものがしっかりとしていれば、必ず目指すべき場所にたどり着く」という教訓です。つまり、カメは「ゴール（到達地点）をイメージしていた」のです。

そう、**ゴール（到達地点）がイメージできていれば、行動に移しやすい**のです。これは、キミたち中学生が進路を決めるときだけでなく、大人が仕事をする場合でも言えることです。具体的に言うと「地図を持たず、目的地もわからず、ただやみくもに動きまわっているだけでは、無駄に時間がたつだけで自分が望む場所には到達しない」ということです。

キミたちにとって中学校卒業後の進路選択は、**人生における大きな「選択」**の一つです。見知らぬ大都会で「さて、今からどちらに向かって歩こうか？」と考えるようなものなのです。ぜひ、ゴールのイメージを持って、最初の一步を踏み出しましょう。

そして、「**目標（ゴール）**」が明確になれば、**努力の方向と方法がわかって**きます。自分がこれからどのように行動すればいいのかがはっきりし、動きやすくなります。進路希望調査を行うとはそのような意味があるのです。まず自分自身でじっくり考え、そしておうちの人ともいろいろと相談しながら、現時点での進路希望を明らかにしよう。そして、具体的に動きはじめよう。

「新研究」で基礎学力と、入試に対応できる学力をつけよう！

昨年度より始まった「新研究」ですが、計画通りに取り組めていない人がいます。また、帰りの学習を見てみると、「勉強したはずなのに、ほとんどかけていない」人もいます。せっかく取り組んだのに、身につく学習になっていないのであればもったいな過ぎます。各教科30回のうち、7回まで進んできましたが、これまでの自分の取り組みを振り返ってみましょう。「解らない」といって、すぐに解答を見ていませんか？ 自分なりに時間を取って考えたり調べたりしましょう。また、解説を熟読して理解できるようにしましょう。そして、できなかった問題は、時間をおいてもう一度やってみましょう。

「わかる」と「できる」の違いが分かりますか？ テストでは、問題が解けなければなりません。すなわち、「できる」ようにしておかなければなりません。「**わかった**」で終わらず、「**できる**」までしっかり取り組みましょう。

保護者の皆様へ

- ◆ 来週は、修学旅行と進路についての説明会があります。お忙しいとは思いますが、参加していただきますようお願いいたします。
- ◆ 進路通信“ROAD”で、進路に関する情報を発信していきます。この通信を読んで、ご家庭で話題にしていいただければと思います。